

第4回 南部地区街づくり協議会

日時：平成26年10月20日14時00分

場所：天理市役所 4F 特別会議室

次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
 - (1) 活性化プロジェクトの進め方について
 - ①推進委員の確認と位置付け
 - ②活性化プロジェクトの全体構想・スケジュールについて
 - (2) 取りかかるプロジェクトについて
 - ①No.1 周遊観光拠点整備プロジェクト
 - ・運営管理方法
 - ・物産の内容検討
 - ②No.2 物産高付加価値化モデルプロジェクト
 - ・対象商品・事業者
 - ・協議会商品イメージ
 - ③No.10 施設を活かした“道の駅”プロジェクト
 - ・活用施設の組み合わせとエリアについて
 - (3) 次回の主な協議内容について
4. 次回の日程
5. 閉会

【添付資料】

- P16～18 周遊観光拠点整備プロジェクト
- P19 物産高付加価値化モデルプロジェクト
- P20 施設を活かした“道の駅”プロジェクト

南部地区活性化プロジェクト スケジュール（案）

No.	スパン	プロジェクト名	取り組み内容	地区	H26下	H27	H28	H29	
1	短期	周遊観光拠点整備プロジェクト	トレイルセンター及び長柄駅において、物販化に向けた施設整備と周遊観光の拠点としてサイクルスポット整備を行う。	柳本	内容検討	整備実施	運営開始		
2		物産高付加価値化モデルプロジェクト【3協議会横断】	事業者を募集し既存物産のパッケージデザイン等を総合プロデュースする。	柳本 朝和	内容検討	事業者募集	着手	製品	
3		“てんりの味”全国お届けプロジェクト【3協議会横断】	農産物・加工品等を“てんりBOX”として全国へ配送する(ふるさと納税も考慮)。	柳本 朝和		検討	着手	運用開始	
4		“大和・ちゃんちゃん”プロジェクト	大和神社において、ちゃんちゃん祭の参加体験型化・呉海自と連携した大和PRを実施する。	朝和		協議・検討			
5		“灯りの魅力”向上プロジェクト	柳灯会の再構築の可能性を検討し、実施団体と協議を進める。	柳本		協議・検討			
6		“ミュージック オン ザ コフン”プロジェクト	黒塚古墳及び関係施設を活用し、県のミュージックフェストと連携した音楽による新しい魅力を創出する。	柳本		県協議	運営主体検討		
7		日本版“王家の谷へ行こう”プロジェクト	①旅行、鉄道会社と連携した観光商品の開発。 ②若者目線による南部の新しい周り方の検討。(奈良県立大学連携)	柳本 朝和		① 連携企業との協議・検討 ② 連携	検討	着手	提案
8	中・長期	“ヤマトの源流”周遊ナビプロジェクト	各周遊拠点からのターゲット別ルート、案内サインを検討(桜井市、田原本町との連携)	柳本 朝和		2市1町協議会との連			
9		“手ぶらでおかえり”プロジェクト	天理駅と連動した土産物配送システム。	柳本 朝和		検討	着手	運営開始	
10		施設を活かした“道の駅”プロジェクト	既存施設、コンビニを核とした道の駅化。	柳本	要件整理	事業用地の確保	運営事業者の誘致		
11		まほろば線駅有効活用プロジェクト	JRまほろば線柳本駅舎及びその周辺の未利用スペースの活用を検討。	柳本		JRとの協議	管理主体の検討		
12		織田のゆかり×空き町屋プロジェクト	空き町屋(武家屋敷)を活用し、織田藩のゆかりをPRする資料館や休憩できるおもてなしスペースを検討する。	柳本	物件検討	運営事業者の誘致			
13		先端技術と最古の融合プロジェクト	企業と連携したウェアラブル端末観光案内、観光アプリの強化。	柳本 朝和		連携企業の誘致			

南部地区活性化プロジェクト イメージ (No.1)

No.1

周遊観光拠点整備プロジェクト



目標

市及び南部の豊富な資源の発信基地として、観光客が必ず立ち寄る魅力スポットを目指す。

“周遊観光”拠点化

トレイルセンター

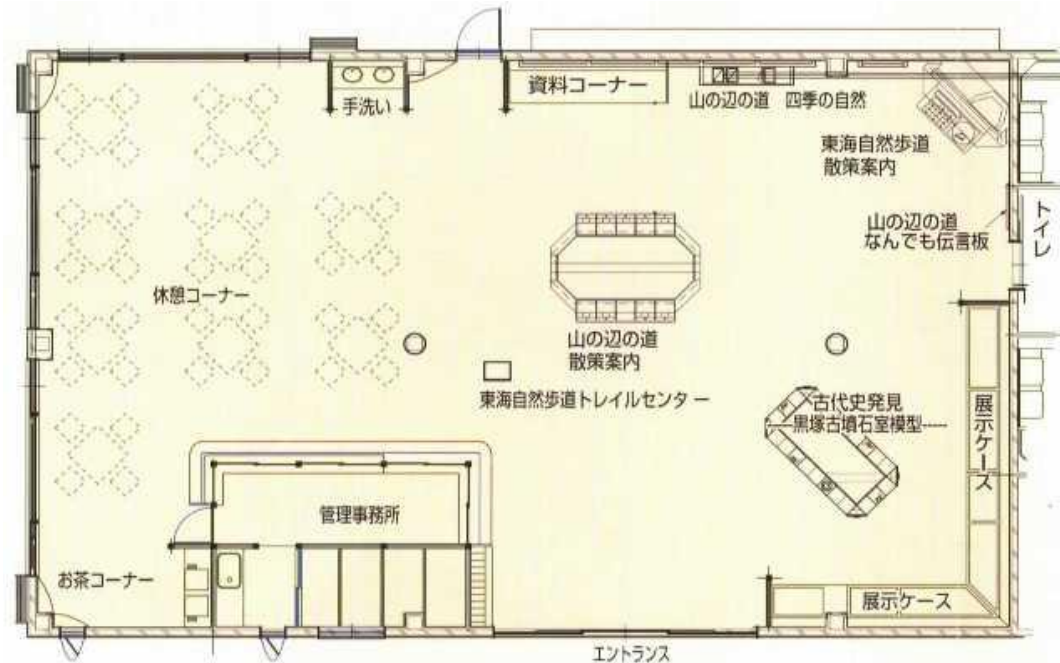
- ・物販の開始
- ・サイクルスポット整備

学生の
運営参加

サイクルスタンド・軽整備用の工具・パンク修理キットの配備、足を伸ばしてくつろげるスペースの設置等、サイクリストフレンドリーな整備を実施。県の“ならクル”の休憩所として認定を受け、広く活用を促進する。

市内の農産物・特産品を販売・PRできるよう主として内装の整備を実施する。山の辺の道、大和青垣の自然に調和した陳列方法を検討し、地元のぬくもりが伝わる“見せ方”を重視する。

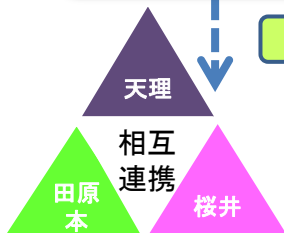
プロジェクト
実施・発信拠点



No.2 物産高付加価値化モデルプロジェクト

No.7 “大和の源流”周遊ナビプロジェクト

No.8 “手ぶらでおかえり”プロジェクト



南部地区活性化プロジェクト イメージ (No.1)

長柄駅倉庫スペース活用

長柄駅の倉庫スペースについて、定期的な活用を目指し、周遊観
拠点としての内装整備を行う。

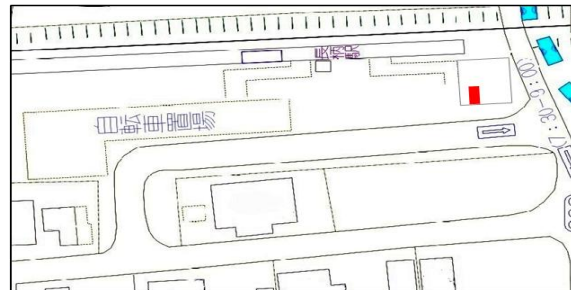
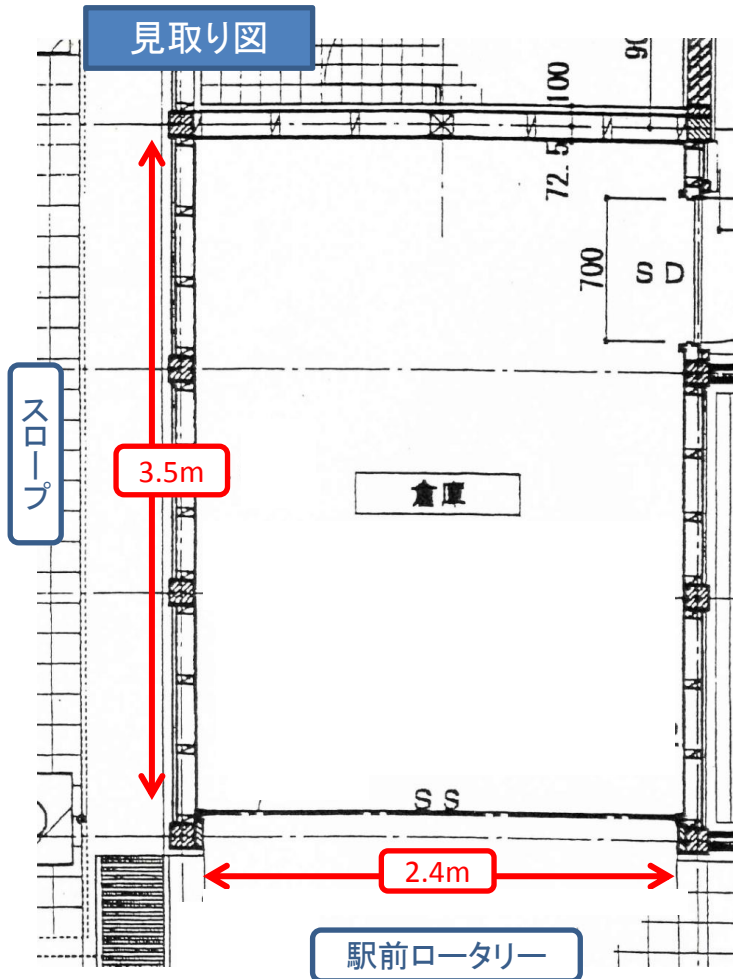
至 天理駅

JRまほろば線

柳本駅

トレイル

見取り図



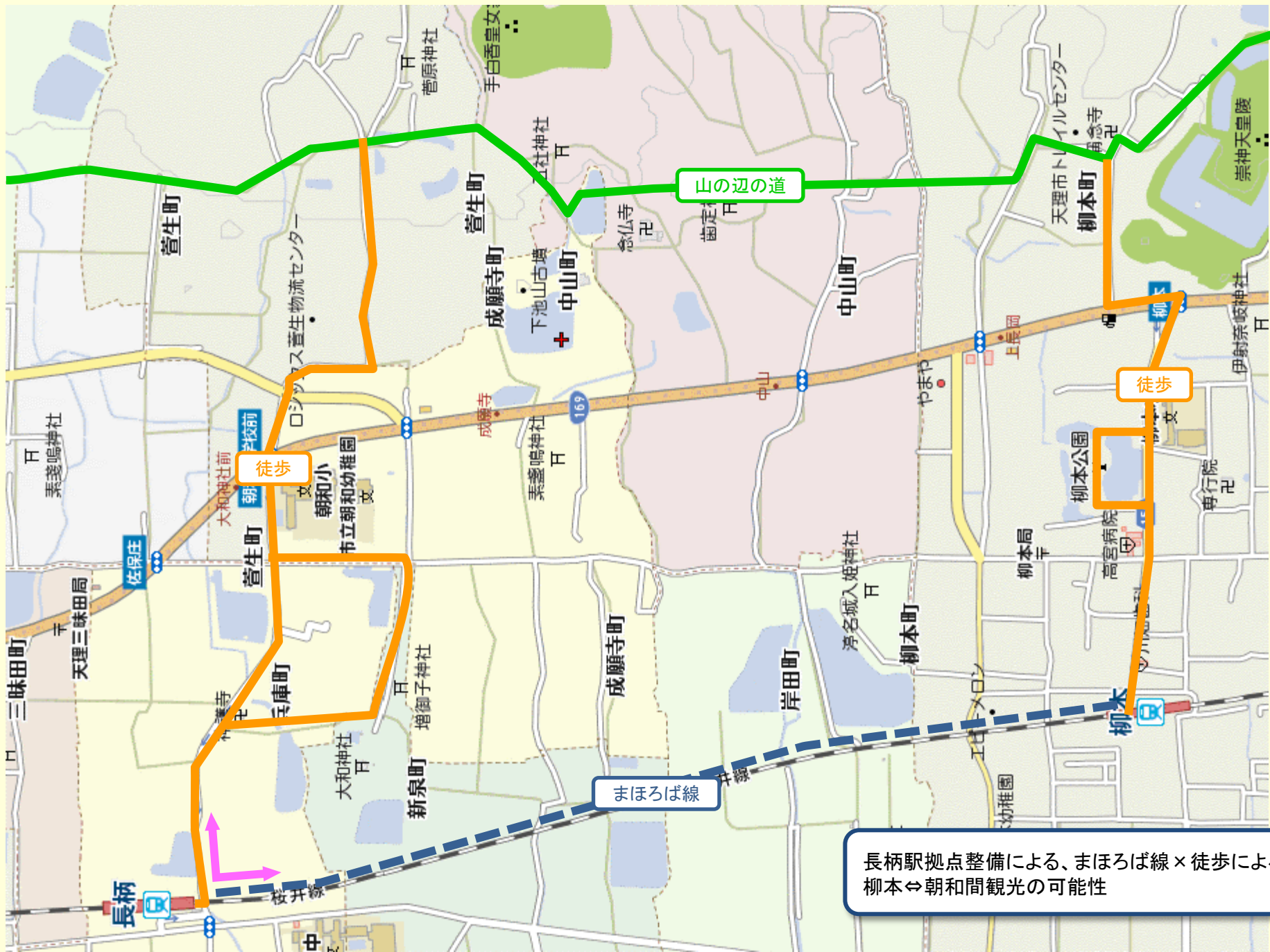
< 推進上の課題 >

※駅の補修用の部材及びボランティアグループ「長柄駅を守る会」による駅トイレ・広場・待合所の清掃、ゴミ拾い、草引き、季節ごとの花植え等の活動用具の収納をしており、十分な協議が必要。



サイクル・徒歩観光

周遊観光



山の辺の道

徒歩

徒歩

まほろば線

長柄駅拠点整備による、まほろば線×徒歩による
柳本⇄朝和小間観光の可能性

南部地区活性化プロジェクト イメージ (No.2)

No.2

物産高付加価値化モデルプロジェクト



目標

地区の既存物産を高付加価値化し、国内外に発信できる天理市発の物産を創出する。

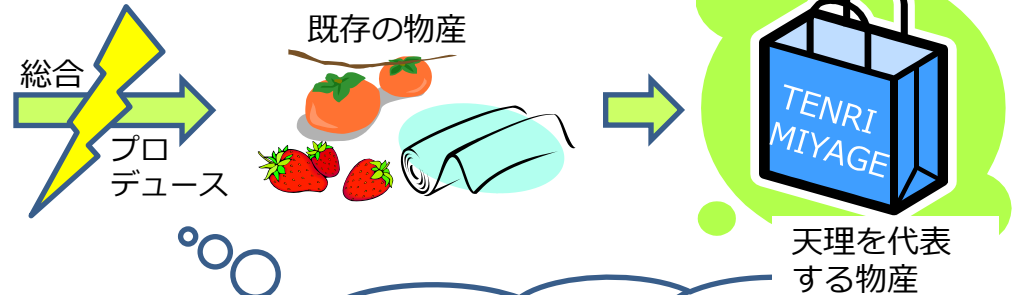
“特産おみやげ” 創出



街づくり協議会
南部地区
天理駅周辺地区
高原地区



有名デザイナー
若手クリエイター



・市内で物産を生産・販売する事業者の製品について、発信力のある有名デザイナー又は若手クリエイターによる商品内容・パッケージ等のリデザイン（最適化）を実施し、“今あるもの”の高付加価値化を行い、国内外に発信できる天理市発の特産品を創出する。

・天理駅周辺地区、南部地区、高原地区の各街づくり協議会において、それぞれの地区ごとに当該事業を検討し、3地区で3つの特産品を創出することで市を横断した効果的な戦略・PRを実施する。

“もの”は良いのに輝いていない製品を…
目を惹くオシャレなパッケージに！
〇〇のモチーフでストーリー性を！
買って来たことをつい自慢したくなる！

< 参考例 >



1万6千人が登録するクリエイターポートフォリオサイト「loftwork.com」を通して名産品のパッケージデザインを募集し、選ばれたクリエイターと各地域のメーカーが対話を重ね、協働

することで新しいマーケットに向けたアイテムを生み出す。
2012年までに、述べ50名のクリエイターと80点ものリデザイン・アイテムを商品化し、多いものでは売り上げ20倍増などの成果を挙げている。



「紫いもクッキー」 (株) なかや宗義
※中身は同じ商品

No.1 周遊観光拠点整備プロジェクト

No.3 “てんりの味”全国お届けプロジェクト

No.9 施設を活かした“道の駅”プロジェクト



関連プロジェクトへ

南部地区活性化プロジェクト イメージ (No.10)

- 既存施設を網羅するエリア検討
- 出口邸を核としたエリア検討

※課題※
住宅地を通る導線

駐車場

コンビニ

物販機能を依頼

車(バス)観光の足を止めさせる

モデルハウス

黒塚古墳

黒塚古墳資料館

柳本公園

歴史的な魅力による集客

柳本公民館

レストラン・カフェ
事業者を誘致

武家屋敷

天理市立柳本小学校

No.2
施設を活かした
道の駅プロジェクト

